令和6年度　大田区立大森第三中学校　自己評価　報告書

○　本校の概要　　令和6年9月30日

◆教育目標　　社会の一員としてたくましく生き抜く人間性豊かな生徳の育成をめざし、以下の目標を掲げる
　　○人権尊重の精神と民主主義を育てる。　○豊かな情操と健全な心身を育てる。　○自主性を伸ばし創造性を育てる。　○自ら進んで学ぶ態度を育てる
◆学校規模　　生徒数484名、学級数14学級
◆本校特色　○地域行事・ボランティア活動参加（新井宿祭典運営総交流会、ガーデンパーティ、新井宿スペシャルデー、ユニバーサル都宿祭典、新井宿児童館親子デー、自治会連合運動会、山王三・四丁目
　　自治会子どもまつり・防災祭、入二小フェスタなど）
　　○生徒会や各委員会を中心とした生徒主体の活動（生徒会朝礼、SNS学校ルール策定、いじめ撲滅運動、など学校行事での実行委員会組織による企画・運営など）
　　○学校運営協議会を中心とした学校・地域協働体制による、学校運営の基本方針の承認や、課題解決に向けた検討等学校運べの参観
　　○スクールサポートミ中学校中心とした学校支援のコーディネーターによる充実した教育活動の展開（調査型ボランティア、職業講話講師、部活動支援、英語検定、漢字検定試験監督、ガーデニング）

○　自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄 評価	人数	コメント
生予側き測る困目力難様をな1育未成来し社会を創造的に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		4:生徒への学校教育活動点検アンケートの設問の回答がそれぞれ80%以上。	4:		A		
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づけを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		3:生徒への学校教育活動点検アンケートの設問の回答がそれぞれ60%以上。	3:		B		
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		2:生徒への学校教育活動点検アンケートの設問の回答がそれぞれ40%未満	2:		C		
		④地域ボランティア等の外部人材を活用して、働くことの魅力や地域の一員としての自覚を育み、生徒が自身の生き方を主体的に考える態度や基礎的・汎用的能力を伸ばす。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		1:生徒への学校教育活動点検アンケートの設問の回答がそれぞれ40%未満	1:		D		
お世界個お界別たと目をつ様担な2うが人材国を際育都成市します	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら英語を学ぶ機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		4:生徒への学校教育活動点検アンケートの設問の回答がそれぞれ80%以上。	4:		A		
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ他者を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		3:生徒への学校教育活動点検アンケートの設問の回答がそれぞれ60%以上。	3:		B		
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		2:生徒への学校教育活動点検アンケートの設問の回答がそれぞれ40%未満	2:		C		
		④実用英語技能検定を実施するなど、検定への意識をたてな、グローバル化に対応できる英語力を身に付け、積極的にコミュニケーションをとろうとする意欲を育む。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		1:生徒への学校教育活動点検アンケートの設問の回答がそれぞれ40%未満	1:		D		
た一個人別のひ目と標縁り3とがな個々性力を総育成を発揮します	児童・生徒が豊かな人生を生きていくとて基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通して、積極的に道徳教育を実践し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		4:学習に積極的に取り組めている生徒の割合と学習効果測定の校内平均正答率が区内平均正答率を上回っている教員がそれぞれ80%以上	4:		A		
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通じて、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		3:学習に積極的に取り組めている生徒の割合と学習効果測定の校内平均正答率が区内平均正答率を上回っている教員がそれぞれ80%以上	3:		B		
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		2:学習に積極的に取り組めている生徒の割合と学習効果測定の校内平均正答率が区内平均正答率を上回っている教員がそれぞれ60%未満	2:		C		
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			2:				
		⑤基礎基本の学習を確実に定着させるため、精選した課題を与えて家庭学習の時間増加、習慣の定着を図す。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		1:学習に積極的に取り組めている生徒の割合と学習効果測定の校内平均正答率が区内平均正答率を上回っている教員がそれぞれ40%未満	1:		D		
学個校別力目・様教4師力を向上させます	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		4:生徒への学校教育活動点検アンケートの設問「丁寧でわかりやすく専門的な内容が理解できる授業が多い」の回答がそれぞれ80%以上	4:		A		
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		3:生徒への学校教育活動点検アンケートの設問「丁寧でわかりやすく専門的な内容が理解できる授業が多い」の回答がそれぞれ60%以上	3:		B		
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保するなど、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。		2:生徒への学校教育活動点検アンケートの設問「丁寧でわかりやすく専門的な内容が理解できる授業が多い」の回答がそれぞれ60%未満	2:		C		
		④ICTを活用した校務の効率化、生徒や保護者との連絡等の効率化等、負担軽減・働きやすさの向上が図られている。	4:「おおむね図られている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね図られている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね図られている」と回答した。 1:「おおむね図られている」と回答した教員が60%未満であった。		1:生徒への学校教育活動点検アンケートの設問「丁寧でわかりやすく専門的な内容が理解できる授業が多い」の回答がそれぞれ40%未満	1:		D		
た自個の分別ら目学ら様びく5をい支き援しきまとす生きる	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの機能に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室及び指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		4:WEB-ひっで「勉強や運動等で友人から認められたと思う」での肯定的な回答が60%以上	4:		A		
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。		3:WEB-ひっで「勉強や運動等で友人から認められたと思う」での肯定的な回答が60%以上	3:		B		
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		2:WEB-ひっで「勉強や運動等で友人から認められたと思う」での肯定的な回答が60%未満	2:		C		
		④不登校生徒出現の未然防止を図るとともに、不登校問題に係る取組を実施し、生徒校組向を示す生徒の学校復帰率を伸ばす。	4:不登校生徒の学校復帰率が60%以上 3:不登校生徒の学校復帰率が40%以上 2:不登校生徒の学校復帰率が20%以上 1:不登校生徒の学校復帰率が20%未満		1:WEB-ひっで「勉強や運動等で友人から認められたと思う」での肯定的な回答が40%未満	1:		D		
安全個心歓別な目教創標育造6環的境な学を学つく空り間まと安全・	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		4:生徒アンケートの設問「学習環境が整えられているか」「安全教育に取り組んでいる」「総合的な学び・安全を提供して貰えるか」設問等が50%以上	4:		A		
		②避難訓練や安全指導日などを通して、各種や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		3:生徒アンケートの設問「学習環境が整えられているか」「安全教育に取り組んでいる」「総合的な学び・安全を提供して貰えるか」設問等が50%以上	3:		B		
		③学習者用デジタル教科書や教育コンテンツの活用により授業を充実させ、生徒が活用しやすい効率の使用方法を実践して、学習環境の向上を図った。	4:「おおむね図られている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね図られている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね図られている」と回答した。 1:「おおむね図られている」と回答した教員が60%未満であった。		2:生徒アンケートの設問「学習環境が整えられているか」「安全教育に取り組んでいる」「総合的な学び・安全を提供して貰えるか」設問等が50%未満	2:		C		
		④生徒への学校給食の提供にあたり、保護者との連携を強化し食物アレルギー事故防止を徹底し、生徒への安全安心な給食の提供を推進する。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		1:生徒アンケートの設問「学習環境が整えられているか」「安全教育に取り組んでいる」「総合的な学び・安全を提供して貰えるか」設問等が40%未満	1:		D		
学地学個校域校別をコ・目コミ重標ュ置7ニ・ネ地ティ域のの検連と携し・て協の働による	地域コミュニティの核としての学校づくりと地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体でこどもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		4:保護者アンケートの設問「保護者会、学年通信等で学校の様子がよくわかる」の生徒アンケートの設問「地域のボランティアに参加し貢献しようとしている」で肯定的な回答が60%以上	4:		A		
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		3:保護者アンケートの設問「保護者会、学年通信等で学校の様子がよくわかる」の生徒アンケートの設問「地域のボランティアに参加し貢献しようとしている」で肯定的な回答が50%以上	3:		B		
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその見方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		2:保護者アンケートの設問「保護者会、学年通信等で学校の様子がよくわかる」の生徒アンケートの設問「地域のボランティアに参加し貢献しようとしている」で肯定的な回答が40%未満	2:		C		
		④生徒が地域におけるさまざまなボランティア活動に参加するように促している。	4:の4の参加生徒数が485人以上であった。 3:の4の参加生徒数が480人以上485人未満であった。 2:の4の参加生徒数が360人以上480人未満であった。 1:の4の参加生徒数が360人未満であった。		1:保護者アンケートの設問「保護者会、学年通信等で学校の様子がよくわかる」の生徒アンケートの設問「地域のボランティアに参加し貢献しようとしている」で肯定的な回答が40%未満	1:		D		

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である　B: 自己評価はおおむね適切である　C: 自己評価は適切ではない　D: 評価は不可能である　の4点について、評価した人数を記載する。